

「高度医療・人材供給拠点（仮称）」の整備に向けた検討状況について

1 要旨・目的

本県の地域医療構想を推進するため、広島都市圏において、全国トップレベルの高度医療を提供する機能や、医療人材を育成・供給する機能を持つ「高度医療・人材供給拠点（仮称）」の整備に向けて検討を進め、本県に必要な医療機能や体制等を示した拠点ビジョンを策定する。

2 現状・背景

本県においては、医師や診療科の偏在、高度医療機器の分散、都市部における医療機能の重複などに課題がある。とりわけ、高度な医療資源が集中する広島都市圏において、医療資源を集約化することにより、県内全域を対象に高い水準の医療を提供するとともに、中山間地域の地域医療を維持する必要がある。

3 概要

(1) 対象者

県民、医療関係者等

(2) 実施内容（実施内容）

「高度医療・人材供給拠点（仮称）」に必要な機能等について検討するため、7月5日（月）に、広島県地域保健対策協議会「保健医療基本問題検討委員会」の第1回会議を開催した。

ア 議題及び内容

項 目	内 容
検討の進め方及び本県医療の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○開催趣旨，検討スケジュール，本県医療の現状と将来推計等について説明 ○現状及び将来推計に基づき，次の課題を報告 <ul style="list-style-type: none"> ・病床機能の分化・連携の推進，効率的な医療資源の配置 ・医療資源が集中する広島都市圏における更なる医療の高度化 ・医師を惹きつける魅力ある医療現場の創出 ・医師の地域及び診療科における偏在の解消 ・新興・再興感染症への機動的な対応
本県の目指す医療の姿	<ul style="list-style-type: none"> ○広島県の医療の目指す姿と医療の2つの柱 <ul style="list-style-type: none"> ・高い水準の医療を県民に提供できる ・地域の医療を持続的に確保することができる ○医療機能強化に向けた取組の方向性 <ul style="list-style-type: none"> 広島都市圏を中心とした医療機能の分化・連携・再編により，多くの症例が集まる「高度医療・人材供給拠点」の整備を目指す ○「高度医療・人材供給拠点」と各地域の拠点となる医療機関における人材供給・循環の仕組みを構築
地域医療の確保方策	<p>広島大学病院総合内科・総合診療科の伊藤公訓教授から、「地域医療が抱える課題と総合医が果たす役割」と題して御講演いただいた。</p>

イ 会議構成員（団体）

広島大学，広島県医師会，広島市医師会，広島県病院協会，基幹病院代表，市長・町長代表，広島市，広島県，広島県地域医療支援センター（委員 23 名）

ウ 会議における主な意見

項目	内容
都市としての魅力向上	・本県の人口減少を食い止めるため，県としての魅力向上に向けた取組や，子供を持つ若手医師の教育・交通環境等の整備も必要ではないか。
高度医療の提供	・小児人口の減少が見込まれる中，小児救命救急センターの整備に当たっては，将来的な採算性も考慮した上で，政策的な医療として整備を検討する必要がある。
総合医の育成	・高度医療を提供できる人材だけでなく，地域に必要なプライマリ・ケア医の育成にも取り組む必要がある。 ・一定程度キャリアを経験した医師を指導医として養成し，若手医師に地域医療マインドを持ってもらえるような仕組みを構築する必要がある。
地域に医師を供給する仕組み	・地域に医師を供給（派遣）するためには，人事権を有する大学医局との連携が不可欠であり，新たな高度医療・人材供給拠点と大学が一体となって運営していく仕組みづくりを検討する必要がある。 ・医師の中にも高度医療に関心のある医師と，地域医療に関心のある医師がおり，個々の医師の意向に沿った柔軟な制度設計が必要ではないか。 ・芸北地域の医療体制は安佐市民病院が中心となって地域をカバーしており，そのような仕組みを各圏域に構築していけば良いのではないか。

エ 議決事項

- ・本県が進める「高度医療・人材供給拠点」のあるべき方向性をまとめた「拠点ビジョン」を年度末までに策定・公表するための検討スケジュールについて承認を得た。
- ・本県医療の現状と課題を踏まえ，目指すべき姿とその実現に向けた取組の方向性について承認を得た。

(3) スケジュール

時期	内容
7月～	・広島大学等と本県に必要な医療機能や連携方策について協議・検討
9月頃	➢第2回地对協保健医療基本問題検討委員会 ・基本理念，拠点に必要な医療機能等の協議・検討
12月頃	➢第3回地对協保健医療基本問題検討委員会 ・拠点ビジョン（素案）の策定
令和4年 3月頃	➢第4回地对協保健医療基本問題検討委員会 ・拠点ビジョンの策定・公表

(4) 予算（単県）

49,245 千円

4 その他

本県医療のあり方について，広く県民の意見を聴いた上で議論を進めるため，地对協保健医療基本問題検討委員会の議事録及び資料については県のホームページで公表を行うとともに，今後の取組の方向性について，県民からの意見を募集する。

【参考】 本県が目指す「高度医療・人材供給拠点（仮称）」のイメージ

高度医療機能と地域の医療体制を確保するため、次の機能を有する「高度医療・人材供給拠点」の整備を検討する。

- 症例及び医療人材を集積し、人材を育成する機能
- 公立・公的病院に求められる高度・専門医療を提供する機能
- 保健医療圏ごとの「地域拠点」に人材を供給する機能
- 新興・再興感染症発生時に医療を提供する機能

【拠点の役割】

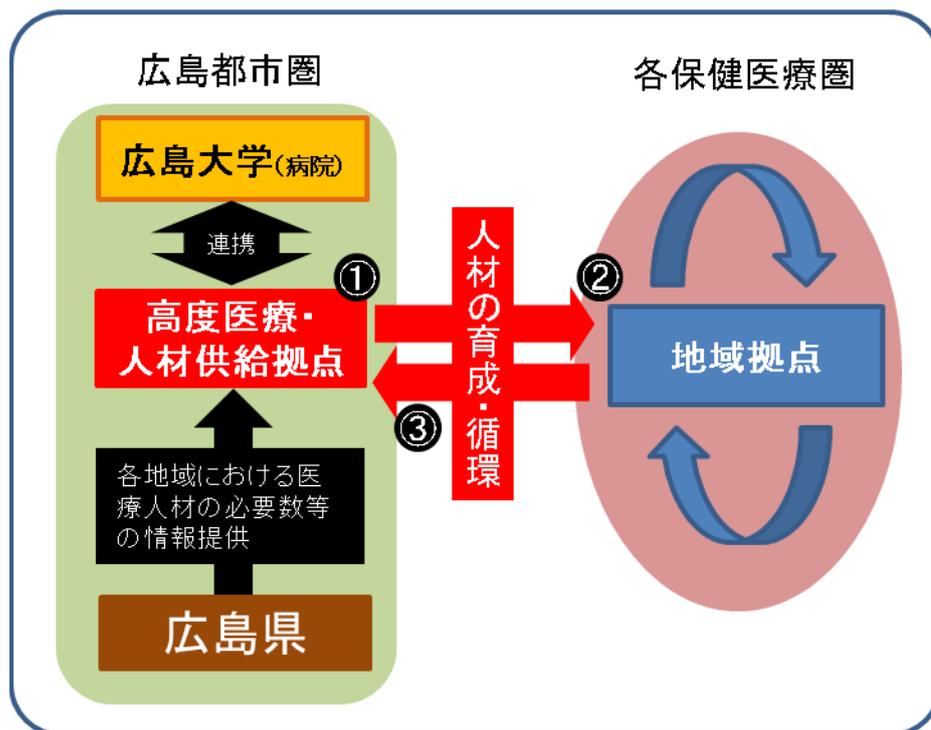
【高度医療・人材供給拠点】

高度医療の提供と地域医療を確保するための人材供給の拠点

【地域拠点】

二次保健医療圏内で医療人材を配分する拠点

【人材育成・循環の仕組み】



- ① 高度医療・人材供給拠点において、総合的な診療能力を有する医療人材を育成（キャリア形成プログラムに基づく人材育成）
↓
- ② 育成した医療人材を地域拠点に供給し、地域拠点においては、圏域内の医療機関への医師派遣、診療応援等を通じて地域における医療提供体制を維持・確保
↓
- ③ 各拠点間における医療人材の定期的な人事異動（循環）により、本人のキャリア形成に配慮しつつ、高度医療の提供と地域医療の確保の両立を図る。

広島県地域保健対策協議会 保健医療基本問題検討委員会 委員名簿

氏名	所属	備考
松村 誠	一般社団法人広島県医師会 会長	委員長
木内 良明	広島大学病院 病院長	
粟井 和夫	広島大学医学部 医学部長 広島大学大学院 医系科学研究科 教授	
伊藤 公訓	広島大学病院 総合内科・総合診療科	
松本 正俊	広島大学 地域医療システム学	
檜谷 義美	一般社団法人広島県病院協会 会長	
佐々木 博	一般社団法人広島市医師会 会長	
岡田 吉弘	三原市長	
箕野 博司	北広島町長	第1回欠席
阪谷 幸春	広島市健康福祉局 保健医療担当局長	
影本 正之	地方独立行政法人広島市立病院機構 副理事長	
古川 善也	広島赤十字・原爆病院 病院長	
浅原 利正	広島県参与	
木下 栄作	広島県健康福祉局 局長	
碓井 亜	公益財団法人 広島県地域保健医療推進機構 地域医療支援センター 医監	
沼崎 清司	公益財団法人 広島県地域保健医療推進機構 地域医療支援センター 部長	
福永 裕文	広島県健康福祉局 総括官（医療機能強化）	
斉藤 一博	広島県健康福祉局 医療機能強化担当課長	
田所 一三	広島県健康福祉局 医療介護人材課長	
吉川 正哉	一般社団法人広島県医師会 副会長	
岩崎 泰政	一般社団法人広島県医師会 副会長	
玉木 正治	一般社団法人広島県医師会 副会長	
中西 敏夫	一般社団法人広島県医師会 常任理事	

(順不同・敬称略)